

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年2月12日

【四半期会計期間】 第67期第3四半期(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

【会社名】 アトムクス株式会社

【英訳名】 ATOMIX CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 小林 和幸

【本店の所在の場所】 東京都板橋区舟渡三丁目9番6号

【電話番号】 03(3969)3111

【事務連絡者氏名】 管理統括部長 富士田 学

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田富山町18番地

【電話番号】 03(5297)1801

【事務連絡者氏名】 管理統括部長 富士田 学

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第66期 第3四半期 連結累計期間	第67期 第3四半期 連結累計期間	第66期
売上高 (千円)	7,589,675	8,269,410	10,993,527
経常利益 (千円)	248,999	257,891	431,128
四半期(当期)純利益 (千円)	122,383	111,929	227,825
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	107,694	203,602	301,172
純資産額 (千円)	8,966,796	8,385,787	9,146,605
総資産額 (千円)	13,066,669	13,535,312	13,757,322
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	14.49	14.29	26.98
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	68.6	62.0	66.5

回次	第66期 第3四半期 連結会計期間	第67期 第3四半期 連結会計期間
1株当たり四半期純利益金額 (円)	11.6	11.96

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれていません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社、以下同じ)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済対策や日銀の金融緩和政策を背景に景気は緩やかな回復傾向で推移しました。一方、円安による原材料価格の高騰、中国経済の減速傾向、消費税の増税決定など先行きが不透明な状況が続いています。

このような状況のもと、当社グループは製品の安定供給、新製品の開発強化、「すき間」市場の開拓、流通網の開拓などに取り組んできました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高82億69百万円（前年同期 75億89百万円）、営業利益2億44百万円（同 2億33百万円）、経常利益2億57百万円（同 2億48百万円）、四半期純利益1億11百万円（同 1億22百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

< 塗料販売事業 >

道路用塗料におきましては、継続して取り組んでいる緊急安全対策（通学路）・自転車走行環境整備等が第3四半期連結会計期間も順調に推移しました。床用塗料におきましては、民間企業の設備投資への回復傾向は感じられますが、未だ厳しい状況が続いているため出荷量は前年並みとなりました。家庭用塗料におきましては、個人消費の回復の兆しが見られるものの実際の動きは鈍いため出荷量は前年を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の塗料販売事業の売上高は前年に比べて7億13百万円増加し、79億23百万円（前年同期比 9.9%増）となりました。

< 施工事業 >

子会社アトムテクノス（株）で順調に工事受注をしていますが、前第3四半期連結会計期間は笹子トンネルの復旧工事という突発的な工事売上を計上したこと、及び床塗装工事の当第3四半期連結会計期間の受注金額が減少したことにより前年を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の施工事業の売上高は前年同期に比べて33百万円減少し、3億45百万円（前年同期比 8.9%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2億22百万円減少し、135億35百万円となりました。これは主に、仕掛品で1億77百万円、建設仮勘定（有形固定資産のその他（純額））で2億49百万円、投資有価証券（投資その他の資産）で71百万円増加したものの、現金及び預金で2億74百万円、受取手形及び売掛金で4億83百万円減少したためです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて5億38百万円増加し、51億49百万円となりました。これは主に、賞与引当金で1億11百万円減少したものの、未払金（流動資産のその他）で2億21百万円、長期借入金で4億12百万円増加したためです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて7億60百万円減少し、83億85百万円となりました。これは主に、その他の包括利益累計額で91百万円増加したものの、自己株式で8億80百万円減少したためです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は1億61百万円で、遮熱塗料などの機能製品の性能向上、防水材の耐汚染性の向上、コーティング材の開発など全て塗料販売事業の研究開発に投入しました。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,440,000	9,440,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	9,440,000	9,440,000		

(注)大阪証券取引所は、平成25年7月16日付で東京証券取引所と現物市場を統合していますので、同日以降の上場金融商品取引所は、東京証券取引所です。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年10月1日 ~平成25年12月31日		9,440,000		1,040,000		680,400

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 997,900		単元株式数 100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,441,700	84,417	同上
単元未満株式	普通株式 400		
発行済株式総数	9,440,000		
総株主の議決権		84,417	

- (注) 1. 平成25年4月1日付けで、単元株式数を1,000株から100株へ変更しています。
2. 当第3四半期会計期間において自己株式の取得を実施したため、平成25年12月31日現在の自己株式は、3,197,940株（発行済株式総数に対する割合33.87%）です。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
アトミクス株式会社	東京都板橋区舟渡3-9-6	997,900		997,900	10.57
計		997,900		997,900	10.57

(注) 平成25年8月26日開催の取締役会において、自己株式の取得を決議し、当第3四半期会計期間に次のとおり、自己株式の取得を実施しました。

取得した株式の種類	当社普通株式
取得した自己株式の総数	2,200,000株
取得価額の総額	880,000千円
発行済株式総数に対する割合	23.30%

上記の自己株式の取得の結果、平成25年12月31日現在の自己株式の保有状況は、次のとおりです。

保有する自己株式の総数	3,197,940株
発行済株式総数に対する割合	33.87%

2 【役員状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人保森会計事務所による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,614,838	2,340,384
受取手形及び売掛金	² 4,592,076	² 4,109,065
商品及び製品	1,017,676	1,063,347
仕掛品	165,990	343,671
原材料及び貯蔵品	532,955	597,963
その他	171,767	150,115
貸倒引当金	88,876	92,075
流動資産合計	9,006,428	8,512,474
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,744,050	2,744,050
その他(純額)	1,280,335	1,481,109
有形固定資産合計	4,024,385	4,225,159
無形固定資産	189,408	202,108
投資その他の資産	¹ 537,100	¹ 595,569
固定資産合計	4,750,894	5,022,837
資産合計	13,757,322	13,535,312
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	² 2,894,090	² 2,867,510
短期借入金	342,936	307,343
未払法人税等	132,757	65,914
賞与引当金	249,046	137,359
引当金	-	25,025
その他	² 474,825	² 802,348
流動負債合計	4,093,655	4,205,501
固定負債		
長期借入金	-	412,975
退職給付引当金	276,194	280,198
役員退職慰労引当金	136,029	144,644
資産除去債務	38,943	39,340
その他	65,893	66,866
固定負債合計	517,061	944,024
負債合計	4,610,717	5,149,525

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	680,400	680,400
利益剰余金	7,745,100	7,772,609
自己株式	380,175	1,260,175
株主資本合計	9,085,324	8,232,833
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,241	116,846
為替換算調整勘定	11,960	36,106
その他の包括利益累計額合計	61,280	152,953
純資産合計	9,146,605	8,385,787
負債純資産合計	13,757,322	13,535,312

(2)【四半期連結損益及び包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高		
商品及び製品売上高	7,210,123	7,923,709
工事売上高	379,551	345,700
売上高合計	7,589,675	8,269,410
売上原価		
商品及び製品売上原価	4,922,427	5,488,467
工事売上原価	314,371	302,338
売上原価合計	5,236,798	5,790,805
売上総利益	2,352,876	2,478,605
販売費及び一般管理費	2,119,465	2,234,506
営業利益	233,411	244,098
営業外収益		
受取利息	125	106
受取配当金	5,918	6,209
為替差益	4,872	21,483
その他	10,977	7,703
営業外収益合計	21,894	35,502
営業外費用		
支払利息	5,386	4,076
自己株式取得費用	-	16,900
貸倒引当金繰入額	670	-
その他	250	732
営業外費用合計	6,306	21,709
経常利益	248,999	257,891
特別利益		
固定資産売却益	199	68
保険満期返戻金	38,241	-
特別利益合計	38,441	68
特別損失		
固定資産売却損	240	2,069
固定資産除却損	2,698	6,468
建物解体費用引当金繰入額	-	24,999
子会社清算損	11,237	-
リース解約損	2,710	-
特別損失合計	16,886	33,537
税金等調整前四半期純利益	270,553	224,423
法人税、住民税及び事業税	37,163	84,424
法人税等調整額	111,006	28,068
法人税等合計	148,170	112,493
少数株主損益調整前四半期純利益	122,383	111,929
四半期純利益	122,383	111,929

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	122,383	111,929
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	2,084	43,605
為替換算調整勘定	12,604	48,067
その他の包括利益合計	14,689	91,672
四半期包括利益	107,694	203,602
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	107,694	203,602
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(会計上の見積りの変更)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年12月31日)
耐用年数の変更	当社は、第2四半期連結会計期間において、当社の加須工場建物の一部の建て替えを行うことを決定しました。当該建て替えに伴い、利用不能となる資産については、耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しています。これにより、従来の方法と比べて、当第3四半期連結累計期間の減価償却費が11,344千円増加し、営業利益、経常利益、及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ7,511千円減少しています。なお、セグメント情報に与える影響は当該箇所に記載しています。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年12月31日)
税金費用の計算	一部の連結子会社における税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
投資その他の資産	6,139	8,166

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしています。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれています。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	166,521	181,540
支払手形	145,842	158,374
その他(設備関係支払手形)	7,357	4,017

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりです。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年12月31日)
減価償却費	191,131	214,980

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	84,420	10	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	84,420	10	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

(自己株式の取得)

当社は、平成25年8月26日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規程により読み替えて適用される会社法156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として自己株式の公開買付けを行うことを決議し、平成25年10月18日付で自己株式8億80百万円を取得したため、当第3四半期連結会計期間末の自己株式は12億60百万円となっています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	塗料販売事業	施工事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	7,210,123	379,551	7,589,675	7,589,675
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19,073	-	19,073	19,073
計	7,229,197	379,551	7,608,748	7,608,748
セグメント利益	461,613	36,296	497,910	497,910

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	497,910
全社費用(注)	264,498
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	233,411

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。これによる当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微です。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	塗料販売事業	施工事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	7,923,709	345,700	8,269,410	8,269,410
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25,514		25,514	25,514
計	7,949,224	345,700	8,294,925	8,294,925
セグメント利益	504,868	10,378	515,247	515,247

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	515,247
全社費用(注)	271,148
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	244,098

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(耐用年数の変更)

(会計上の見積りの変更)に記載のとおり、第2四半期連結会計期間において、当社の加須工場建物の一部の建て替えを行うことを決定しました。当該建て替えに伴い、利用不能となる資産については、耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しています。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の塗料販売事業のセグメント利益が、7,511千円減少しています。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額(円)	14.49	14.29
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	122,383	111,929
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	122,383	111,929
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,442	7,830

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月10日

アトミクス株式会社
取締役会 御中

監査法人 保森会計事務所

代表社員
業務執行社員 公認会計士 三 枝 哲 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 小 山 貴 久 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアトミクス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アトミクス株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。